



京都府京丹後市間人(たいざ)を舞台にした 食とアートの祭典「あしたの畑 2024年秋期」の開催決定 京都市内〈SEI KYOTO〉では企画展「Remedy」開催

あしたの畑 秋期 2024年10月25日(金)～11月17日(日) | 京丹後市間人(たいざ)地区
企画展「Remedy」 2024年10月31日(木)～11月10日(日) | 京都市内



写真:野口里佳 2024

NPO法人TOMORROW(京都府、代表 徳田佳世)は、2024年10月25日(金)～11月17日(日)の期間、食とアートの祭典「あしたの畑 2024 秋期」を開催いたします。

2022年、2023年の食とアートの祭典「ECHO」を経て、今回から「あしたの畑」として秋期・春期を分けて年に2回実施。2024年秋期は、京都府京丹後市の間人(たいざ)地区と京都市内の複数の会場で、国内外のアーティストの作品展示や食のイベント、リジェネラティブな建築をテーマにした対談イベントなどを行います。間人の展示会場となる〈SEI TAIZA〉(間人レジデンス)は、今回が初めての一般公開です。

また、2024年10月31日(木)～11月10日(日)の期間、京都市内の〈SEI KYOTO〉では企画展「Remedy」を開催。〈SEI KYOTO〉は、建築家 西沢立衛が京町家の伝統に向き合い職人たちと作り上げた、NPO法人TOMORROWの拠点兼住居。木工職人 中川周士が古代の死生観から着想を得た木舟作品、陶磁器作家 新里明士による薬草にもなり釉薬にもなる植物を用いた陶磁器作品、写真家 野口里佳が間人で撮影した写真作品を展示します。京都・西陣の唐紙のショップ兼工房の〈かみ添〉では、唐紙作家 嘉戸浩とガラス作家 佐藤聡による二人展も同時開催。

あしたの畑 秋期の鑑賞チケットはオンラインで販売中。 <https://tomorrow-jp.org/program/2024fall/>

参加作家一覧 (五十音順)

安東陽子(テキスタイルデザイナー)、開化堂、嘉戸浩(唐紙作家)、京都大学平田晃久研究室、楠修二(料理人)、坂本健(料理人)、佐藤聡(ガラス作家)、中川周士(木工作家)、新里明士(陶磁器作家)、野口里佳(写真家)、AAWAA(現代美術家)、Ken Gun Min(現代美術家)、Sangho Noh(現代美術家)

一「あしたの畑」秋期

2024年10月25日(金)～11月17日(日) | 京都府京丹後市間人(たいざ)地区



SEI TAIZA (写真:森田晃)



Field of Stars (写真:森田晃)

京都府京丹後市間人(たいざ)地区の〈間人スタジオ〉、〈SEI TAIZA〉、〈間人レジデンス〉では、国内外のアーティストや工芸作家、料理人、写真家、学生による特別展示を行います。

また、同地区の〈宮のあしたの畑〉では、現代美術アーティスト テレジータ・フェルナンデス、木工職人 中川周士を中心に、リジェネラティブなアート、工芸、建築作品の創造の場となる常設作品「Field of Stars」も公開いたします。

- 会期 | 2024年10月25日(金) - 2024年11月17日(日) 11:00-16:00 ※火・水曜 休み
会場 | 間人スタジオ、SEI TAIZA、間人レジデンス、宮のあしたの畑
参加作家 | AAWAA、開化堂、嘉戸浩(かみ添)、坂本健(cenci)、楠修二、Sangho Noh、Ken Gun Min、野口里佳、安東陽子+京都大学平田晃久研究室
鑑賞料 | 1,500円(全会場共通) ※〈宮のあしたの畑〉の作品は無料
主催 | NPO法人TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
委託 | 令和6年度日本博2.0事業(委託型)

公式ウェブサイト <https://tomorrow-jp.org/>
オンラインチケット購入 <https://tomorrow-jp.org/program/2024fall/>

一企画展「Remedy」

2024年10月31日(木) - 2024年11月10日(日) | 京都府京都市内

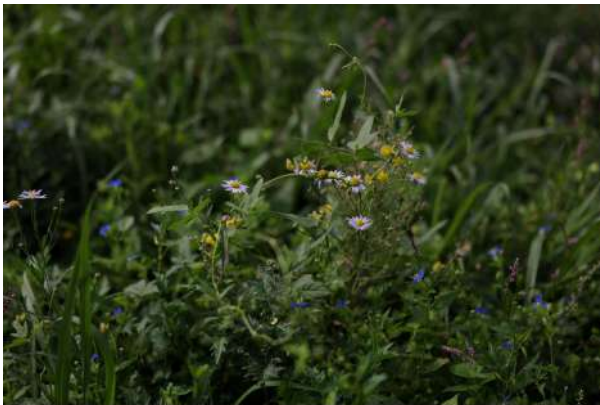


写真:森田晃



SEI KYOTO (写真:森田晃)

- 会期 | 2024年10月31日(木) - 2024年11月10日(日) 12:00-16:00
会場 | 〈SEI KYOTO〉京都市内 ※火・水曜 休み ・ 〈かみ添〉京都市北区紫野東藤ノ森町11-1 ※月曜休み
参加作家 | 〈SEI KYOTO〉中川周士、新里明士、野口里佳
〈かみ添〉嘉戸浩、佐藤聡
鑑賞料 | 〈SEI KYOTO〉1,000円 ※要オンラインチケット購入 ・ 〈かみ添〉無料
主催 | NPO法人TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
委託 | 令和6年度日本博2.0事業(委託型)

オンラインチケット購入 | <https://tomorrow-jp.org/program/remedy/>



JAPAN
CULTURAL
EXPO 2.0



間人の集落 (写真: 森川昇)

特別展①

WILD - Life Style by the Sea 海辺の集落

あしたの畑の活動拠点「間人スタジオ」では、土地の風土に適したものを、生活の器を作り出す工芸作家たちが全て一から考え、大きなスケール、建材に挑む試みとして、開化堂とかみ添による新たな空間“自然の部屋”を初公開。また、坂本健(cenci) + 楠修二による、鑑賞の合間に休憩ができる、地元の海藻食材を使ったわかめスープと発酵食品を提供します(事前予約制)。「間人レジデンス」ではAAWAAが間人の土を使った空間作品を初公開いたします。

参加作家:AAWAA、開化堂、嘉戸浩(かみ添)、坂本健(cenci)、楠修二 | 会場:間人スタジオ、間人レジデンス



SEI TAIZA (写真: 森川昇)

特別展②

Can't we be friends? 友だちになれないかな?

丹後ちりめん工場として使われていた築60年の建物を再活用した、間人(たいざ)地区初のアートギャラリー「SEI TAIZA」。4人の現代アーティストによるサイトスペシフィックの新作作品を展示いたします。

アーティスト AAWAAによる空間作品、韓国人アーティスト Ken Gun Minによる丹後の伝承をモチーフにするドローイングと刺繍による平面作品、Sangho Nohが描く丹後の遺跡や文化、ランドマークをコラージュするドローイング作品、写真家 野口里佳が間人で撮影した写真作品をご覧ください。

参加作家:AAWAA、Sangho Noh、Ken Gun Min、野口里佳 | 会場:SEI TAIZA



イ・サンホ「間人」2024

特別展③

This place used to be and will be.

韓国人アーティスト Sangho Nohが間人(たいざ)訪問で得た体験、想像の世界から織りなすドローイングと、NPO法人 TOMORROWのインターンが調査した間人の歴史の文章を合わせ、間人の過去・現在・未来を感じることができるアートマップを作成。限定数配布いたします。※ウェブサイトで後日公開予定

また、テキスタイルデザイナー・コーディネーター 安東陽子と京都大学平田晃久研究室の学生たちは、2025年度の完成を目指す、これからの間人の集落を考える模型と図面を展示。

参加作家:Sangho Noh、安東陽子+京都大学平田晃久研究室 | 会場:間人スタジオ ※会場は変更になる可能性があります

[「間人スタジオ」](#) 住所:京丹後市丹後町間人2854

[「SEI TAIZA」](#) ※2024年秋 初公開 住所:京丹後市丹後町間人3329

[「間人レジデンス」](#) ※2024年秋 初公開 住所:京丹後市丹後町間人3332-2

※いずれも展覧会等イベント会期中に公開。駐車場は近隣の城島公園駐車場をご利用ください。



常設作品

「宮のあしたの畑」

竹野神社前に位置する「宮のあしたの畑」では、現代美術家 テレジータ・フェルナンデス、木工職人 中川周士を中心に、リジェネラティブなアート、工芸、建築作品の創造の場となる常設作品「Field of Stars」のほか、建築家 西沢立衛による最小建築「納屋」、陶磁器作家 新里明士と加藤貴也による「あしたの畑窯」を展示いたします。 ※常時公開

住 所: 京都府京丹後市丹後町宮249
入場料: 無料
※竹野神社の駐車場をご利用ください

< 関連イベント >

間人子ども料理教室「あしたの台所ー発酵」

京都祇園の老舗料亭で修業し数々の実績を持ち、現在は発酵食の魅力を追求する発酵人 楠修二氏による子ども向けの料理教室を開催します。



日時: 2024年8月4日(日) 9:00-13:00(予定)
会場: 丹後地域公民館 (京都府京丹後市丹後町間人2690-1)
講師: 楠修二(発酵人) 対象: 小学3年生から6年生(保護者同伴可能)
定員: 親子あわせて20人
参加費: おひとり2,700円(税込)、親子でご参加の場合、5,000円
主 催: あしたの畑実行委員会 後援: 京丹後市
詳細・申込 https://tomorrow-jp.org/program/cookingclass_fermentation/

レクチャー・対談『リジェネラティブ・アーキテクチャー』

世界各地でさまざまなヴァナキュラー建築を手がけ、ユネスコでの持続可能な建築学教授に任命されているドイツの建築家 Anna Heringer氏によるレクチャーと、平田晃久建築設計事務所 平田晃久氏による対談イベントを開催。地域の素材や伝統的な技法を使ってどのようにリジェネラティブな建築を作っていくかを両氏が議論します。



日 時: 9月14日(土) 16:00-17:30(15:30 開場)
会 場: 京都大学 百周年時計台記念館 (京都府京都市左京区吉田本町36)
登壇者: Anna Heringer(建築家)、平田晃久(建築家)
参加費: 1,000円 定 員: 100名(予約制・先着順)
主 催: NPO法人TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
詳細・申込 https://tomorrow-jp.org/program/regenerative_architecture/

NPO法人TOMORROW / あしたの畑



NPO法人TOMORROWは、芸術文化活動を核とする非営利団体。「感動すること」を最上位の価値として定め、芸術文化活動を通し、豊かな心を育み、平和な国際社会を築く一因となることを目的とします。2020年より京都北部の京丹後市間人(たいざ)地区にて開始した活動「あしたの畑」は、国内外で活躍するアート(建築・工芸などの表現を含む)と食のプロフェッショナルたちが、分野を超え、都市部では得られない地域の立場から、未来に引き継ぎたい日本の美しい景色を文化芸術的アプローチによって創造していくことを目指します。 <https://tomorrow-jp.org/tomorrow/>

BOARD MEMBERS

理事長	徳田佳世
副理事長	徳山豊、西沢立衛
理事	中田英寿
監事	有田耕介